

15	地域活性化措置	若狭町社会教育施設維持運営事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		若狭町				
交付金事業実施場所		若狭町鳥浜 ほか1件				
交付金事業の概要		若狭町社会教育施設の維持運営事業に係る人件費（職員8名・10ヶ月分）に補助金を充当し、施設の健全な維持運営に努めています。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		基本目標Ⅳ 関西・中京圏からの人の流れをつくる（エ）歴史・文化遺産の活用を促進する ②水月湖年縞と縄文遺跡の活用促進 当町の社会教育施設（図書館リブラ館、若狭三方縄文博物館）の維持運営に本補助金を充当することにより、施設の健全な維持運営に努めるとともに、地域福祉並びに住民サービスの向上と活性化、地域資源を活用することによる来訪者増加を図ります。				
事業開始年度		平成30年度	事業終了（予定）年度	平成30年度		
事業期間の設定理由		—				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	平成30年度
		学校への司書派遣（3回増：前年比）	学校への司書派遣回数	成果実績	回	10
				目標値	回	2
				達成度	%	500.0%
		図書館来館者（2%増：前年比）	図書館来館者数	成果実績	人	27,853
				目標値	人	31,098
達成度	%			90.0%		

交付金事業の成果目標 及び成果実績	縄文博物館 の体験教室 参加者 (30%増： 前年比)	縄文博物館 の体験教室 参加者数	成果実績	人	2,949		
			目標値	人	2,544		
			達成度	%	116.0%		
	縄文博物館 来館者 (30%増： 前年比)	縄文博物館 来館者数	成果実績	人	26,965		
			目標値	人	14,085		
			達成度	%	191.0%		
	評価年度の設定理由						
	—						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	<p>図書館は、一昨年のリニューアルオープンによる来館者の増加に比べると減少したものの、来場者数は25,000人を超えており、住民サービス提供を維持することができました。また、司書派遣数を10回（昨年度より8回増）行うことにより、地域福祉の向上および教育環境の充実を図ることができました。</p> <p>縄文博物館では、体験教室の参加者2,949人に対し郷土の文化を広く啓発することができました。さらに、福井県年縞博物館のオープンやイベント等を通じた利用促進により来館者は約90%増加し、多くの人に縄文に対する関心を広めることができました。</p>						
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	28年度	29年度	30年度
	社会教育施設職員の雇用 量 (雇用人数(人)×雇用 期間(月))		活動実績	人月	52	71	80
			活動見込	人月	72	72	80
			達成度	%	72.2%	98.6%	100.0%

交付金事業の総事業費等	28年度	29年度	30年度	備考
総事業費	21,458,017	28,130,477	34,767,083	84,355,577
交付金充当額	20,000,000	19,000,000	23,000,000	62,000,000
うち文部科学省分			21,222,000	21,222,000
うち経済産業省分	20,000,000	19,000,000	1,778,000	40,778,000
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
職員人件費	雇用	職員	34,767,083	
交付金事業の担当課室	若狭町歴史文化課			
交付金事業の評価課室	若狭町政策推進課			